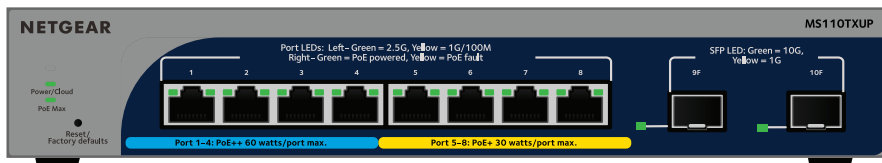
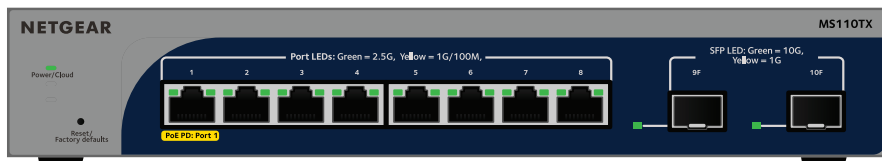


インストールガイド

マルチギガビット (2.5G)
8ポート スマートスイッチ
(10G SFP+ポート × 2)
MS110TX

Ultra60 PoE++対応マルチギガビット (2.5G)
8ポート スマートスイッチ
(10G SFP+ポート × 2)
MS110TXUP



同梱物

- NETGEAR MS110TXまたはMS110TXUPスイッチ
- 電源コード
- ゴム足
- ラック取り付け用のラックマウントキット
- ドキュメントのダウンロードに関する小冊子

メモ: 設置方法の詳細については、ハードウェアインストールガイド (netgear.com/support/enterprise/ からダウンロード可能) を参照してください。

スイッチの登録

保証の有効化とサポートには製品登録が必要です。詳細については、netgear.com/jp/about/warranty/ を参照してください。

1. インターネットに接続可能なPCまたはモバイルデバイスから、MyNETGEAR.com にアクセスします。
2. NETGEARアカウントにログインします。

メモ: NETGEARアカウント (無料) をお持ちでない場合は、アカウントを作成できます。

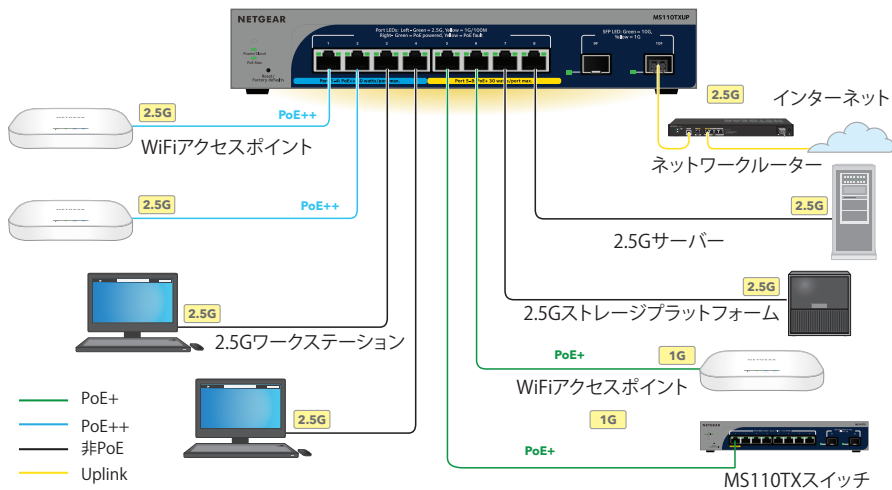
[登録済み製品] ページが表示されます。

3. **[新しい製品の登録]** ボタンをクリックします
4. **[シリアル番号]** フィールドに、スイッチのシリアル番号を入力します。
シリアル番号の長さは13桁です。スイッチのラベルに印字されています。
5. **[購入日]** メニューから、スイッチを購入した日付を選択します。
6. **[登録]** ボタンをクリックします。
7. スイッチがNETGEARアカウントに登録されます。NETGEARアカウントのメールアドレスに確認メールが送信されます。

スイッチの接続

ネットワークの構成例

MS110TXUPスイッチ



本スイッチは、屋内専用です。屋外にあるデバイスに接続する場合は、屋外デバイスを適切に接地し、サージ保護を行う必要があります。また、スイッチと各屋外デバイスの間の配線にイーサネットサージ保護装置を取り付ける必要があります。上記を行わない場合、スイッチが損傷するおそれがあります。



警告: 本スイッチを屋外のケーブルやデバイスに接続する前に、安全および保証に関する情報を次のURLでご確認ください:

<https://kb.netgear.com/ja/000057103>

1. デバイスをスイッチのポート (1~8) に接続します。
1Gおよび2.5Gの通信速度で接続するには、カテゴリー5e (Cat 5e) 以上のLANケーブルを使用してください。
2. スwitchのポートを、ネットワークに接続します。
メモ: 小規模ネットワークでは、スイッチをモデムまたはゲートウェイに接続しているルーターのLANポートに接続します。

SFP+ポートを使用するには、SFP+モジュール (NETGEARから購入可能) をご使用ください。

警告: SFP+ポートに10G銅線モジュールを挿入する場合は、もう一方のSFP+ポートには10G銅線モジュールを挿入しないでください。
3. スwitchの電源を入れ、2分間待ちます。
ネットワークにDHCPサーバーが存在する場合は、スイッチに新しいIPアドレスが自動的に割り当てられます。
存在しない場合は、192.168.0.239/24 のIPアドレスが割り当てられます。

PoEステータスの確認 (MS110TXUPのみ)

MS110TXUPは、ポート1~4がPoE++ (IEEE 802.3bt) で各ポート最大60 Wを給電、ポート5~8がPoE+ (IEEE 802.3at) で各ポート最大30 Wを給電できます。MS110TXUPスイッチは、有効なPoE+およびPoE++ポート全体で合計230Wを給電できます。

PoE Max LEDはスイッチ全体のPoEステータスを表示します。

- **消灯:** 十分な状態です。給電能力が7 Wを上回っています。
- **黄色点灯:** 給電可能な電力が7W未満です。
- **黄色点滅:** 過去 (2分以内) に給電可能な電力が7W未満になりました。

スイッチのIPアドレスの検出およびスイッチの管理

次の表に記載されているいずれかの方法で、スイッチにアクセスおよび管理できます。

A	NETGEAR Discovery Toolおよびスタンドアロンのローカル管理: 参照: A. NETGEAR Discovery Toolを使用してスイッチを検出し、Web管理者ページでスイッチを管理する
B	NETGEAR InsightクラウドポータルまたはNETGEAR Insightアプリのリモート管理: 参照: B. NETGEAR Insightを使用してスイッチを検出および管理する

メモ: 詳細については、ユーザーマニュアルの手順を参照してください。マニュアルは、NETGEARダウンロードセンター (netgear.com/support/enterprise/) からダウンロードできます。NETGEARダウンロードセンターのQRコードは右側に記載されています。Insightの使用方法に関する詳細については、kb.netgear.com/ja/000044336 を参照してください。



A. NETGEAR Discovery Toolを使用してスイッチを検出し、Web管理者ページでスイッチを管理する

NETGEAR Discovery Toolを使用して、ネットワーク内のスイッチIPアドレスを検出する

NETGEAR Discovery Tool (NDT) を使用すると、スイッチと同じネットワークに接続されているMacまたはWindowsベースのPCから、ネットワーク内にあるスイッチのIPアドレスを検出できます。このツールは、<https://www.netgear.com/jp/support/product/netgear-discovery-tool/> からダウンロードできます。

スイッチのWeb管理者ページを使用してスイッチを管理する

スイッチはプラグ&プレイでそのまま使用することもできますが、Web管理者ページにログインすれば、様々な機能をご利用いただけます。

1. スイッチと同一ネットワークに接続済みのPCやタブレットから、Webブラウザを起動します。有線接続またはWiFi接続を使用できます。
2. Webブラウザのアドレス欄に、NETGEAR Discovery Toolを使用して、ネットワーク内のスイッチIPアドレスを検出するで確認したスイッチIPアドレスを入力します。

スイッチがインターネットに接続されている場合は、登録して保証を有効化するためのページが表示されます。ただし、NETGEAR Insightアプリですでにスイッチを登録している場合は、Web管理者ページのログインページが表示されるので、手順4に進んでください。

3. まだNETGEAR Insightアプリでスイッチを登録していない場合は、次のいずれかのボタンをクリックします。
 - **デバイスの登録:** このタブは、スイッチがインターネットに接続されている場合に表示されます。スイッチを登録して保証を有効化できます。スイッチを登録する多くのメリットについては、netgear.com/jp/why-register/を参照してください。
 - **登録キーを入力:** 登録キーを取得している場合 (MyNETGEAR.com サイトでスイッチを登録した場合など)、キーを入力してWeb管理者ページにログインできます。
 - **登録をスキップして管理者ページにアクセス:** 登録は必須ではありませんが、登録を強くお勧めします。購入後30日以内にスイッチを登録しないと、保証資格に影響する場合があります。
4. 入力画面が表示されたら、デフォルトのデバイス管理者パスワード (**password**) を入力し、**[ログイン]** ボタンをクリックします。
5. [デフォルトのパスワードの変更] ページが表示されたら、新しいデバイス管理者パスワードを入力、確認し、**[送信]** ボタンをクリックして、新しいパスワードを使用して再度ログインします。

システム情報ページが表示されます。スイッチにログイン後は、スイッチをセッ
トアップできるようになります。Web管理者ページからのスイッチの設定の詳細
については、ユーザーマニュアル (netgear.com/support/enterprise/download から型番を入力してダウンロード可能) を参照してください。

B. NETGEAR Insightを使用してスイッチを検出および管理する

NETGEAR InsightクラウドポータルまたはNETGEAR Insightアプリを使用して、スイッチを検出および管理できます。

メモ: InsightクラウドポータルまたはInsightアプリを使用してスイッチを管理する場合も、引き続きWeb管理者ページを使用してスイッチを管理することもできます。つまり、これらの管理方法は相互に排他的なものではなく、互いを補完するものです。Insightへの変更はWeb管理者ページに同期され、逆にWeb管理者ページへの変更はInsightに同期されます。Insightはスイッチでデフォルトで有効になっています。

Insightクラウドポータルを使用してスイッチを検出および管理する

クラウドベースの管理プラットフォームInsightのポータルからスイッチを管理することができます。

1. PCまたはタブレットで、insight.netgear.com にアクセスします。
2. NETGEARアカウントのメールアドレスとパスワードを入力し、**[サインイン]** をクリックします。
3. 2段階認証が有効になっている場合は、認証コードを入力し、**[コードを確認]** ボタンをクリックします。
4. **[デバイス]>[追加]** をクリックします。
5. **[単一デバイス]** ラジオボタンを選択します。

メモ: デバイスリストをCSVファイルとしてアップロードして、複数のInsight対応デバイスを追加することもできます。詳細については、netgear.com/support/enterprise/ のユーザーマニュアルを参照してください。

6. **[ロケーションを選択]** メニューから、デバイスを追加するネットワークのロケーションを選択します。
ネットワークロケーションに設定したデバイス管理者パスワードによって、ネットワークロケーションに追加したすべてのデバイスの既存の管理者パスワードが置き換えられます。
7. **[シリアル番号]** の欄に、デバイスのシリアル番号を入力します。
8. **[デバイス名]** の欄に、デバイスの名前を入力します。
9. **[MACアドレス]** の欄に、デバイスのMACアドレスを入力します。
10. **[追加]** ボタンをクリックします。
11. 必要に応じてスイッチのデバイス名を変更し、**[次へ]** をクリックします。
セットアップが進行中であることを確認するページが表示されます。

メモ: スイッチがオンラインであるにもかかわらず検出されない場合、スイッチが配置されている場所にあるファイアウォールによって、Insightクラウドとの通信が妨げられている可能性があります。この場合は、ファイアウォールへのアウトバウンドアクセス用にポートとDNSエントリを追加します。詳細については、kb.netgear.com/000062467 を参照してください。

スイッチは、最新のファームウェアおよびロケーション設定に自動的に更新されます。これには最大10分かかる場合があり、その間にスイッチが再起動します。スイッチはInsightの管理対象デバイスとなり、Insightのクラウドベースの管理プラットフォームに接続されます。

NETGEAR Insightアプリを使用してスイッチを検出および管理する

Insightアプリを使用して、iOSまたはAndroidモバイルデバイスからスイッチを管理し、クラウドベースの管理プラットフォームInsightに接続できます。

1. モバイルデバイスから各ストアにアクセスし、「NETGEAR Insight」と検索して最新バージョンのアプリをダウンロードします。
2. NETGEAR Insightアプリを起動します。
3. NETGEARアカウントをお持ちでない場合は、**[アカウントを持っていない]**をタップし、画面に表示される指示に従います。
4. **[サインイン]**をタップします。
5. NETGEARアカウントのメールアドレスとパスワードを入力し、**[サインイン]**をタップします。
6. 2段階認証が有効になっている場合は、確認コードを入力して**[続行]**をタップします。
7. 組織を選択し、右上隅の**[+]**をタップします。
 - **スイッチおよびモバイルデバイスが同じネットワークに接続されている場合。**
 - a. **[ネットワークのスキャン]**または**[シリアル番号の入力]**をタップします。
 - b. 画面に表示される案内にしたがってセットアップします。
スイッチが表示されない場合は、NDTを使用してスイッチを検出します。
詳細は、「NETGEAR Discovery Toolを使用して、ネットワーク内のスイッチIPアドレスを検出する」を参照してください。
 - **スイッチとモバイルデバイスが同じネットワークに接続されていない場合。**スイッチとそのIPアドレスはデバイスリストに表示されません。以下の操作を実行します。
 - a. **バーコードまたはQRコードをスキャン**します。
 - b. 画面に表示される案内にしたがってセットアップします。
8. 画面の指示に従って、スイッチの登録を完了します。

メモ: InsightとWeb管理者ページの両方を使用してスイッチを管理する場合、Insightネットワークロケーションにスイッチを追加すると、Insightネットワークロケーションのパスワードが、Web管理者ページのスイッチ管理者パスワードに置き換わります。Web管理者ページにアクセスするには、Insightネットワークロケーションのパスワードを入力する必要があります。

PDポート (MS110TXのみ)

MS110TXスイッチのポート1は、PD (受電デバイス) ポートです。このポートにより、MS110TXでは上流のPoE (Power over Ethernet) 対応スイッチからPoE給電を受けることができます。これにより、スイッチ本体は主電源に加えて、LANケーブル経由でも給電できます。MS110TXは、システムがフル負荷時でも安全に動作できるように、30 W以上のPoE給電 (802.3at) を必要とします。

PoEに関する注意事項 (MS110TXUPのみ)

スイッチが供給するPoE給電はポート1～8で利用でき、アクティブなPoE++ポート全体での総電力能力は230 Wです。

次の表は、オーバーライドが適用されていない標準の電力範囲を示しており、最大ケーブル長は100メートルで計算されています。スイッチからPDデバイスに十分な電力が配給されない場合は、短いLANケーブルの使用をご検討ください。

クラス	対応PoE規格	クラスの説明	スイッチで供給される最大電力	受電デバイス (PD) の電力範囲
0	PoE, PoE+, PoE++	デフォルト (フル)	15.4 W	0.44 W～13.0 W
1	PoE, PoE+, PoE++	超低消費電力	4.0 W	0.44 W～3.84 W
2	PoE, PoE+, PoE++	低消費電力	7.0 W	3.84 W～6.49 W
3	PoE, PoE+, PoE++	中消費電力	15.4 W	6.49 W～13.0 W
4	PoE+, PoE++	高消費電力	30.0 W	13.0 W～25.5 W
5	PoE++	超高消費電力	45.0 W	25.5 W～40.0 W
6～8	PoE++	超高消費電力	60.0 W	40.0 W～51.0 W

クラス	供給される電力	割り当てられる電力
0	0.44~12.95 W	15.4 W
1	0.44~3.84 W	4.0 W
2	3.84~6.49 W	7.0 W
3	6.49~12.95 W	15.4 W

PoEのトラブルシューティング (MS110TXUPのみ)

PoEに関するよくあるトラブルの解決方法を以下で説明します。

- PoE Max LEDが黄色に点灯している場合は、1台以上のPoEデバイスの接続を外してPoEの容量オーバーを防いでください。
- 各受電デバイス (PD) がスイッチに接続されると、対応するスイッチ上のPoE LEDが緑色に点灯します。PoE LEDが黄色に点灯している場合は、PoEに障害が発生しており、次の表に記載したいずれかの原因によりPoEが停止しています。

PoEの障害原因	解決策
PoEが関係する短絡がポートで発生している。	
PDのPoE要求電力が、スイッチの許容最大レベルを超過している。最大レベルは、PoE接続で15.4 W、PoE+接続では30 W、PoE++接続では60 Wです。	不具合の原因は接続されているPDの可能性が高いです。PDの状態を確認します。PDの接続を外し、再接続することで、PDを再起動します。または短いケーブルに変えてみます。
ポートのPoE電流がPDの種別限度値を超過している。	
ポートのPoE電圧がスイッチの許容範囲外である。	スイッチを再起動して、不具合が解消するかどうか確認してください。PDの状態を確認します。PDの接続を外し、再接続することで、PDを再起動します。または短いケーブルに変えてみます。

サポートされているモジュール: トランシーバーおよびDAC

このスイッチは、以下のトランシーバーモジュールとダイレクトアタッチケーブル (DAC) (NETGEARから購入可能) をサポートしています。

モデル	説明
1G SFP トランシーバー	
AGM731F	NETGEAR 1000BASE-SX SFP LC トランシーバー (マルチモード、1000 m OM4, 550 m OM3 50/125 μm , 275 m OM2/OM1 62.5/125 μm)
AGM732F	NETGEAR 1000BASE-LX SFP LC トランシーバー (シングルモード、10 km 9/125 μm)
1G 銅線 SFP トランシーバー	
AGM734	NETGEAR 1000BASE-T SFP RJ45 トランシーバー
10G SFP+ダイレクトアタッチケーブル (DAC)	
AXC761	NETGEAR 10G SFP+パッシブダイレクトアタッチケーブル (1 m)
AXC763	NETGEAR 10G SFP+パッシブダイレクトアタッチケーブル (3 m)
10G SFP+ トランシーバー	
AXM761	NETGEAR 10GBASE-SR SFP+LC トランシーバー (マルチモード、550 m OM4, 300 m OM3 50/125 μm , 33 m OM2/OM1 62.5/125 μm)
AXM762	NETGEAR 10GBASE-LR SFP+LC トランシーバー (シングルモード、10 km 9/125 μm)
AXM764	NETGEAR 10GBASE-LR Lite SFP+LC トランシーバー (シングルモード、2 km 9/125 μm)
10G 銅線 SFP+ トランシーバー	
AXM765v2	NETGEAR 10GBASE-T SFP+ RJ45 トランシーバー (80 m CAT6A)

メモ: スイッチは、SFP+ポートで最大1個の10G銅線モジュールをサポートします。

サポートとコミュニティ

不明点がある場合や最新版のダウンロードについては、netgear.com/jp/support/にアクセスしてください。

また、NETGEARコミュニティ (<https://community.netgear.com/jp>) で役立つアドバイスを提供しています。

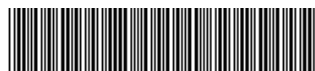
法規制とコンプライアンス

EU適合宣言書などの法規制遵守情報については、次のURLをご参照ください:
<https://www.netgear.com/jp/about/regulatory/>

本製品をお使いになる前に、必ず規制遵守情報をご参照ください。

本製品は、屋内使用専用であり、屋内で使用する場合のみ保証の対象となります。本製品は屋外ではご使用になれません。PoEによる給電は屋内での接続のみを想定しています。

2026年5月



201-32967-02

NETGEAR®

ネットギアジャパン合同会社

© NETGEAR, Inc.、NETGEAR、およびNETGEARのロゴはNETGEARの商標です。その他の商標またはロゴは参照目的のためにのみ使用されています。